

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



▲テープカットの様子

やまぐちブランド登録
証交付式の様子



山口大島みかんを出荷しました

平成25年産山口大島みかんの初荷出発式が9月24日、久賀のJA山口大島柑橘選果場で行われました。今年は梅雨明け以降、干ばつが続いていましたが、かん水を行うなど生産者の努力によって、甘く美味しい果実に仕上がっています。

また、式典ではその時期の品種で特においしい果実を厳選している「島育ち」シリーズが「やまぐちブランド」の登録を受けることになり、やまぐちブランド登録証交付式も行われ、山本伸雄ややまぐちの農林水産物需要拡大協議会会長から吉村基JA山口大島代表理事組合長へ登録証が交付されました。やまぐちブランドとは、県内で生産される農林水産物などを対象に味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選した登録商品のことです。

登録証交付式の後、テープカットとくす玉割で初荷を祝い、拍手に送られて極早生みかんを積み込んだトラックが県内の市場に向けて出発。山口大島みかんとして店頭に並びます。

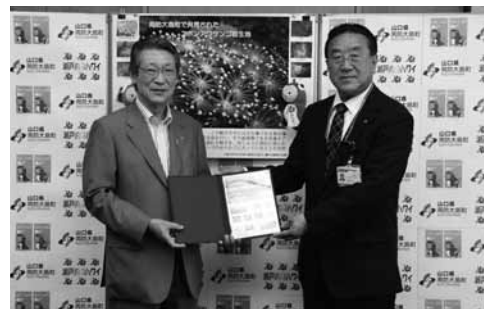
アロハフラ親善大使に任命

9月24日、10月にカウアイ島で開催される周防大島町・カウアイ島姉妹島提携50周年記念式典で、ケイキフラ（子どものフラ）を披露する町内の小学生7名に町はアロハフラ親善大使を任命しました。



7名は記念式典のほか老人福祉施設などでフラを披露し、交流を深めます。

田村和雄周東地区連絡会
統括局長（写真右）から
椎木町長へフレイム切手
が贈呈されました。



ニホンアワサングの フレイム切手が贈呈されました

9月20日、ニホンアワサングのフレイム切手の販売を記念し、町へフレイム切手が贈呈されました。

これは今年の2月末にニホンアワサングの群生地が瀬戸内海では初めてとなる、瀬戸内海国立公園（山口県地域）海城公園地区に指定されたのをきっかけに、日本郵便中国支社が準備を進め、販売を決定したものです。

なお、フレイム切手（アワサングの写真などをデザインした80円切手の10枚セット）は、9月20日から町内の郵便局などで販売しておりますが、好評のため9月末に売り切れました。